

令和6年度(2024年度)第7号
 豊中市立北緑丘小学校
 令和6年(2024年)11月1日

つながる学校

- 自分で考え、判断する力を持つ子ども
- 自分で目標に向かって、努力を続ける子ども
- ちがいを認め合い、相手の立場を尊重し、仲間とつながりあえる子ども

後期がはじまりました

秋風がさわやかに感じられる季節になりました。朝晩は寒く感じられます。

10月25日(金)に「のびゆくこども」が渡されました。前期の学習や行事、係でがんばったこと、これから取り組んでほしいアドバイスなど先生たちの思いが込められていました。後半もいろいろな行事もあります。一つひとつしっかり頑張っていってほしいと思います。

全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に6年生を対象として全国学力・学習状況調査が行われました。この目的は児童生徒の学力や学習状況を把握し、今後の教育に役立てることです。ですが、結果については正答率が高ければがんばっていると評価されてしまっている面があるようです。改めて当初の目的を大切に、授業改善のヒントとしていきたいと思います。

なお、文部科学省HPに調査問題が掲載されています。

国語

よくがんばっているところ

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている
- ・目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる

課題・これからの改善点

- ・話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる
- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる

1の二の問題はオンラインで和田さんと村木さんとの交流について問われています。(1)は和田さんが話し方をなぜ変えたのか選択する問題です。和田さんは相手から「わからない」と言われたので話を変えています。ここでは約1割の人が「まちがった情報をすぐに治した方がよいことに気づいたから」と答えています。「言い直す」＝「間違えを直している」と捉えてしまったのかもしれませんが、和田さんは「話し方を変えますね」と言っているし、③と⑤は同じ内容の文章です。その部分に気付けるようになってほしいです。

2の一(2)、3の三は問題の意図は異なりますが、間違え方は全く同じです。読んだことについてまとめるところですが、条件が複数ついています。どちらも「(読んだところから)言葉や文を取り上げて書くこと」を見落としていて間違いになっている人が多かったです。元の文から**大事な言葉を書き出せば**正解になっていたと思います。このような経験を深めていくのも大切だと感じました。

算数

よくがんばっているところ

- ・問題場面の数量を捉え、式に表すことができる
- ・球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる

課題・これからの改善点

- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる
- ・折れ線グラフの特徴を理解し、条件にあてはまることを言葉と数を用いて記述できる

4(2)の問題です。

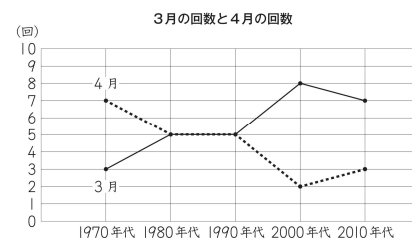
たけるさんは、3分間で180m歩きました。同じ速さで歩き続けると1800mを歩くのに何分かかりますか。答えを書きましょう。

180mを3分 ⇒ 1800mを?分 ですね。

$$1800m \div 180m = 10 \quad 3分 \times 10 = 30分 \quad \text{答え } 30分$$

となるのですが、なぜか10分と答えた人が10人ほどいました。きっと始めの式だけで終わってしまったと思います。必ず「**1あたりの量**」を考えることで正しい答えが出てくると思います。

5(3)の問題です。折れ線グラフの読み取りについてです。



左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数の違いは何回ですか。

違いが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

先ほどの国語と同じで問われていることが2つあります。ほとんどの人が違いが大きい年代について「2000年代」と答えているのに、3月と4月の違いを「6回」とかけていない人が20人近くいました。

問われている内容は難しい式も必要ないので簡単なことなのですが、1度に2つのことを問われたり、いくつもの条件がついたりすると急に正解率が下がってしまいます。確かにふだんの授業で一度に複数のことを解く問題はあまりないかもしれませんが、しかし、問題をしっかりと最後まで読めば解決できると思います。本校でもこのあたりのことをこれから取り組んでいこうと考えています。